

心聖会 広報誌

広報こいけ

発行：社会福祉法人 心聖会
広報委員会
発行責任者：吉村 優児
URL <http://www.e-shinseikai.or.jp/>

(法人事務局)

〒276-0001

千葉県八千代市小池 3 9 3

TEL 047(488)8222 FAX 047(488)8229

経営理念

わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そして、これらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。

- ・障害のある人の人格と個性を尊重します。
- ・障害のある人が安心して豊かな地域生活を営めるよう支援します。
- ・障害のある人の喜びや悲しみを共感できる職員であることに努めます。



新年度を迎えて

こいけ障害者支援センター

施設長 市川 朋未

春は様々な花が一斉に咲き始め、道端の風景も華やかになります。新たな気持ちで一歩踏み出す門出を応援してくれているように感じます。

昨年4月、私は入所施設一筋21年の勤務から通所事業所へ異動となりました。同じ障害者施設でも入所と通所では異なる課題や新たな発見があり、改めてこの仕事の魅力や必要性、人との繋がりへの有難さを感じた1年となりました。

令和6年度は報酬改定の年でもあり、新たな基本方針が示されました。専門性の高さ、質の高いサービス提供、ご利用者のニーズに沿った取り組みの実践などが評価の対象となります。

私たちの仕事は一人の力でできる仕事ではなく、チーム力が必要となります。チームで仕事を行う際、さまざまな失敗もあるかと思えます。和歌山県で打ち上げられた小型ロケットカイトは打ち上げ5秒で爆発し、失敗と話題になりましたが、豊田正和社長は直後の会見で「失敗ではなく、1つ1つの試みに新しいデータ、経験があり、そうしたものが今後の新しい挑戦に向けての糧になる。」と語っていました。起きてしまった出来事を変えることはできませんが、自分がどう受け止めるかによって失敗も意味あるものに変えることができます。「何事も前向きに」を意識して、新年度ロケットスタートを切っていきたいと思えます。

新年度の抱負

小池更生園 荒木 貴士



私は、小池更生園に入職して2年半が経ちました。福祉業界の仕事は未経験で入職したので、当初は何から業務を覚えればいいのかかわからずに、右往左往してました。しかし、ご利用者とコミュニケーションを取り、周りの方々に支えて頂くことで、業務に慣れることができました。まだまだ未熟者ですが、少しずつ成長を実感することができています。

日々、誠意を持ち、ご利用者と向き合った上で、さらに成長を重ねるためには、ご利用者個々の特性を理解する事と、福祉に関する専門的な知識を得ることが必要だと感じています。

今年度は、専門的な知識や技能の習得に力を入れ、ご利用者がより安心して生活ができる環境を提供していきたいと思います。

作山更生園 中村 朋也



この度、こいけ障害者支援センターから作山更生園へ異動となりました。6年前にこいけ障害者支援センターが開所した当初から勤めさせて頂いておりましたが、最初は何もわからない状態でした。その中で少しずつご利用者、ご家族また一緒に働く職員の方々と信頼関係を構築し、今日までやってこられたことは私にとってかけがえのない財産となりました。関係者の皆様には、この場を借りて心から感謝申し上げます。

作山更生園でも、ご利用者にご家族の想いを大切にして、法人の理念である「わたしたちは、利用者の幸せ、利用者の家族の幸せ、地域住民の幸せ、そしてこれらを支えることを職員の幸せとして事業に取り組みます。」を実現出来るように尽力いたします。至らない点もあるかと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

私の今年度の目標は「ご利用者との日々を全力で楽しむ」です。支援員としてご利用者と過ごす日々には、良い事だけでなく、うまくいかず悩む事や、悲しい事もあります。昨年、入職してから10年以上一緒に過ごさせていだいたご利用者が目の前で意識を失くし、救急搬送されましたが、そのまま旅立たれてしまうという事がありました。もう二度としたくない経験ですが、支援員を続けている間は、絶対にないとは言えない事だと思いません。だからこそ、一緒に過ごさせてもらっている一日一日が、その人にとって、その日しかない大切な人生の一日である事をしっかりと心に留めたいと思います。そして、失敗や困難から学び、ご利用者の出来ることが増えたり、課題解決に繋がった時は、一緒に喜び、お一人おひとり「嬉しい」や「楽しい」を増やしていきたいと思えます。

こいけ障害者支援センター 阿田 絵里子



こいけホーム 中村 はるか



こいけホームへ着任してから、二度目の春を迎えました。暖冬と言われながらも桜の開花は例年より少し遅く4月を過ぎてから見頃となり、皆さまが楽しみにしていたお花見を皮切りに新年度開始となりました。こいけホームは、今年で開設12年目を迎えます。グループホームならではの強みを生かした支援を最大限に提供することを目的とし、職員一人一人が「少数精鋭」という言葉を常に意識しながら、日々の業務に取り組みしております。日常生活を送る場として、職種の垣根を超えこいけホーム一丸となり、安全・安心・楽しみを提供できるよう連携を図る毎日、やりがい、満ち溢れています。また今年度は、ご利用者が待ち望んでいた一泊旅行が、5年振りに復活予定です。縮こまっていた世界が少しずつ広がっていく喜びを共有する、そんな一年としたいです。

こいけホーム 中村 はるか

小池更生園便り

各作業班 新年度の抱負

作業班統括リーダー 佐久間悠



小池更生園の作業活動では、昨年度より行動制限が緩和され、班外出やバザー等、外での活動が以前のように行えるようになってきました。今年度の作業活動においても、バザー販売等の活動へ、積極的に参加して頂き、気分転換や、やりがい、楽しさを感じて頂く場を増やしていきたいと思っております。また、今年度の作業活動でのスローガンとして「基本に忠実に」を掲げています。ご利用者が作業活動で活躍でき、有意義で安心・安全な作業環境を提供していく為に、基本的な業務を、職員1人ひとりが真剣に取り組み、しっかりと地盤固めをしていきたいと思っております。今年度も作業班全体の成長・成功に繋げていく為に、職員一同、初心の心を忘れずに日々昇進して参ります。今年度もよろしくお願ひします。

味噌加工班 高橋 大樹



私は、小池更生園に入職して6年目を迎えました。

入職してからは、前職とは全く違う分野での転職ということもあり、

ご利用者との関係作りをはじめ、作業班での業務や各種行事といった、様々な場面で苦労することが多々ありました。しかしながら上司や同僚、ご利用者の温かいお言葉や助けもあり、楽しく仕事を続けさせていただいております。

2023年度からは、お味噌の製造だけではなく、自家焙煎のコーヒーの製造もさせていただき、長年ご愛顧頂いているお味噌と同じように、コーヒーも皆様に長らく愛して頂けるような商品に出来るよう頑張っております。

今後自身を助けて頂いた皆様に對して、感謝の気持ちを忘れず、今度は、自身が誰かを助けられるような存在になれるよう日々精進し、誠実に仕事へ励んでいきますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

受注班 辻 美保



私は、受注班に所属して7年目になります。今年度の受注班では、受注作業に取り組むだけではなく、ご利用者の強みを生かして、アート活動にも力を入れていきたいと思っております。

今までも、少しずつではありますがアート活動に取り組んできましたが、特定のご利用者しか出来ないと思ひ込み、決まったご利用者ばかりに声を掛けていました。しかし、今年度からは、ご利用者の新たな可能性を引き出すためにも、もっと受注班のご利用者に着目する必要があると感じました。手先が器用な人が豊富なのが好きな人、想像力が豊かな人・・・と様々なご利用者がいます。一人ひとりの個性を最大限に發揮して、周囲が驚くような作品を作る手助けができればと思ひます。また、受注作業においても、職員が判断するのではなく、ご利用者の声に耳を傾けていきます。ご利用者に「作業が楽しい」と思ってもらえるような班にしていきたいです。

室内1班 岡部 洸太



今年度より、心聖会に入職して4年目を迎えました。これも、ご利用者をはじめ、ご家族の皆様、支援員の方々に支えられ、今の私があると思ひます。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

私が今年度に掲げる作業班での抱負は、「進化・深化・新化」です。ご利用者が安心、安全な生活ができ、班外出やイベントを楽しんで参加して頂けるように、自身の進化を目指します。その為には、福祉に関する知識はもちろんのこと、ご利用者1人ひとりの特性を理解、深掘して知識の深化を目指します。それによって、作業活動の新化も目指していきたいと考えます。

私自身、支援員として、まだまだ足りない面が多くあります。目標に掲げた抱負を意識し、ご利用者との関係作りや、支援員同士のコミュニケーション、ご家族の想いを大切にして、日々の業務に努めてまいります。

今後ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

室内2班 藤田 ゆりか



新年度の抱負はもっとご利用者に楽しんでもらえるような企画を取り入れる事です。

前年度は、2班

のお茶会の係を担当させていただきました。毎月一回行われているお茶会ですが、ご利用者もとても楽しみにしています。お茶会では、ご利用者自身で生クリームをはじめ、好きなデコレーションで飾り付けを行い、クリームチーズパフェを作っています。パフェ作りを行うことで食べる楽しみはもちろん、作ることも大きな喜びに繋がっていると感じました。ご利用者の「美味しかった！」という笑顔が見られた時に、自分自身も企画の楽しさ、やりがいを感じました。今後可能な限りの簡単な調理をご利用者を行うことで幸福度アップに繋がると思いました。

新年度も新たな活動をたくさん企画し、ご利用者に楽しんでもらえるような支援を行っていききたいです。

室内3班 高橋 里央



私が3班で業務を行って行く中で大切に行っている事は2つあります。

1つ目は、ご利用者の立場にたって支援を行い、楽しく作業を行えるようにする事。

2つ目はたくさんコミュニケーションを取り、好きな物、苦手をな物を把握し、ご本人の気持ちを尊重する事です。

2023年度は、ご利用者の事を深く理解ができるように、意識してコミュニケーションをとることで、新しい発見が沢山あり、様々な事を学びました。ご利用者と向き合うことを重ね、ご利用者の事について、少しずつ、理解が深まるたびに、自身も頑張ろう!と思うことや、楽しいなと感じる事が多くあり、前向きな気持ちになれるパワーを、ご利用者からいただきました。

2024年度も前年度で学んだことを活かし、より良い支援をしていけたらと思っています。

こいけ障害者支援センター便り

幕開け



3月22日(金)、年度最後の行事としてお花見会を行いました。残念ながら開花していませんでした。代わりに桜アートのソメイヨシノに癒されながら1年を締めくくり、新年度の幕開けを迎えることができました。

令和6年度は2チーム編成でのスタートになりました。チーム数を減らすことで、チームの枠に捉われず、その時々状況に合った柔軟な支援ができ、ご



桜アートの下で

利用者の「好き」や「得意」を活かした活動を提供していききたいと考えています。

入所施設から通所している方が中心の「チーム・ミント」では、平均年齢46歳、最高齢73歳と、徐々に高齢化の波が押し寄せられています。身体機能の維持、向上、成人病やケガの予防を目指して、筋力・体幹・転倒予防トレーニング、健康体操、ADLトレーニングなど、「機能・生活トレーニング」を取り入れることになりました。

ご自宅から通われている方が中心の「チーム・ベリー」。土曜開所日は平日に比べ、センターをお休みされる方が多くいらっしゃり、残念ながら少人数での活動になっています。「土曜日もセンターに行きたい」と思っていただけのような活動を考え、今年度から『土曜ニコニコ活動(略して「ニコ活」)』を取り入れることになりました。ご利用者も職員も笑顔になれる活動を提供していきます。

新しいご利用者・職員が加わりました、新生センターの幕開けにご期待ください。

作山更生園便り

うみのもりの玉手箱3

1月10日から21日までのおよそ2週間にわたって開催された展覧会「うみのもりの玉手箱3」に、作山更生園からも5名のご利用者の作品を出展することができました。この展覧会は「千葉アール・ブリュットセンターうみのもり」が主催し、千葉県が共催したもので、会場は千葉県立美術館、のべ来場者数は約四千名と、大変規模の大きな催しとなりました。



県立美術館にて展示されました

主催団体の名前にも入っている「アール・ブリュット」とは一般にアウトサイダー・アートとも呼ばれ、正規の芸術教育を受けていない方の作品や創作活



成田美登さんの作品「ITO」

動を指すとのこと。今回の展覧会は、障害のある方の豊かな余暇活動や社会参画を促すこと等アール・ブリュットの表現活動へ方法を用いて、芸術文化活動への参加を後押しすることをその目的としています。今年度の展覧会では、ひまわり班所属の成田美登さんの作品が「うみのもり賞」を受賞されたことに加え、美術館に展示された自分たちの作品や、それをご覧になる来場者の姿を見ることができると、ご利用者の皆さんが、表現活動や作品発表の喜びを実感する機会にもつながりました。

「うみのもり賞」を受賞された成田さんの作品「ITO」は作山更生園の玄関に展示中です。来園の際には、表彰状や作品解説とともに、ぜひ御覧ください。

手をつなぐ作品展

2月26日から28日の3日間、イオンモール八千代緑が丘にて開催の「手をつなぐ作品展(北部地区)」に、作山更生園と小池更生園がそれぞれ出展しました。

このイベントは、千葉県知的障害者福祉協会が主催し、県内各施設のご利用者が生産・制作した生花やジャムなどの食品、グッズ類などを販売・展示する催しで、今年度は県北部・中部・南部の3箇所に分かれての開催となりました。

小池更生園からは「小池みそ」とともに、昨年自家焙煎を始めたばかりの「ピッコロスターニョコーヒー」を販売。そしてわたしたち作山更生園は、すずのね班のご利用者が制作したアクリ



県北部の9施設が集結しました！



編み物やお手製ストラップを販売♪

ルたわしやお手製のひざ掛け、うみ班のご利用者が職員と協力して制作しているハーバリウム・ペンやお手製ストラップなどを、それぞれのブースにて販売しました。平日日中の開催とはなりましたが、期間中は天気にも恵まれ、予想以上にたくさんのお客様に足を運んでいただくことができました。作山更生園の販売品のうち、特に人気があったのは、うみ班のハーバリウム・ボールペンと、すずのね班のアクリルたわしや手作りコースターで、どれも見た目にも美しく、また丁寧な制作されており、ご利用者の思いがお客様にも伝わったのだと実感しています。

これからも職員一同、ご利用者の思いがこもった作品づくりのお手伝いを続けてまいります。

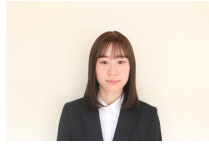
法人だより

新任職員紹介

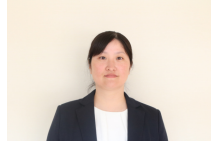
①名前②出身③好きな言葉
〈小池更生園〉



①土家 颯斗
(つちや はやと)
②和歌山県
③がむしやら



①土田 蘭
(つちだ らん)
②千葉県
③ありがとう



①甲斐 久美子
(かい くみこ)
②広島県
③推しは推せるときに
推せ



①今 悠貴
(こん ゆうき)
②青森県
③悠々自適

〈小池更生園〉



①杉本 愛
(すぎもと あい)
②北海道
③自己共栄

〈作山更生園〉



①中山 奈那香
(なかやま ななか)
②千葉県
③なんとかなる



①鈴木 りえ
(すずき りえ)
②千葉県
③どうにかなる

〈こいけ障害者支援センター〉



①立花 実紅
(たちばな みく)
②千葉県
③ありがとう

異動職員のお知らせ

小池更生園

田村 直毅 (前・こいけ障害者
支援センター)

吉田 航 (前・作山更生園)

鈴木 亮 (前・作山更生園)

林 谷響 (前・作山更生園)

作山更生園

中村 朋也 (前・こいけ障害者
支援センター)

鈴木 大登 (前・小池更生園)

千葉 可奈未 (前・小池更生園)

こいけ障害者支援センター

森 将光 (前・小池更生園)

水野 晋瑛 (前・小池更生園)

寄付の御礼

寄付金

・中村 敏雄 様

・寄付物品 ルームランナー

・石橋 七三男 様

編集後記

春の心地よい風と日差しを浴びながら、ふと自身の手を見ると、やはり乾燥が気になってしまふ今日この頃でございます。今これを書いている現在、私の中でのビッグニュースといえば大谷翔平選手が結婚を発表したことでしょうか。お相手の名前などは伏せていましたが、発表から数日後、大谷選手のインスタグラムに仲睦まじく写る夫婦の写真が公開されると「大谷の隣にいるこの長身美女は誰だ」と、こちらもまた世界中で大きな話題となりました。暗いニュースが多い中、なんだか少しほっこりとした私でございました。個人的な話になってしまふのですが、昨年6月から筋トレを始めて、気づけば10カ月という時間が経過しました。始めたきっかけはとても単純で「いい体してる!」と思われたかった。ただそれだけです。ですが続けていくうちに食事や生活習慣、睡眠時間に気を遣ったりなど、身体にとって良い事しかないと感じました。皆さんも適度な運動を心掛けて、健康な身体づくりをしませんか? パワー!

